



学校教育目標 基本目標 愛校心を持つ、たくましく生きる力を身につけた生徒の育成

具体目標 自ら意欲的に学び、正しく判断できる生徒（知）かしこさ 思いやりと感謝の心を持ち、主体的に行動できる生徒（徳）やさしさ あかるく健康で活力ある生徒（体）たくましさ

目指す学校像

- 生徒が主体となって、人とつながりながら生きる力を身につけ、保護者や地域から信頼される学校
- ・生徒が主体となり、自ら意欲的に学習に取り組む学校
- ・安心・安全で、いじめ等に適切に対応し保護者や地域から信頼される学校
- ・一人一人の生徒の成長のために教職員がチームとして全力で支援する学校
- ・一人一台端末を効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びを実践する学校

目指す生徒像

- かしこさ、やさしさ、たくましさを培い、学校に誇りを持ち、自ら考え、正しく判断し、何事にも最後まで粘り強く取り組む生徒
- ・かしこさ、やさしさ、たくましさの知・徳・体をバランス良く備えた生徒
- ・自らの課題や目標に対して自ら考え追究し、自ら考え行動し、何事にも諦めずに、粘り強く取り組む生徒
- ・町や地域行事に積極的に参加し、地域に貢献できる生徒

目指す教師像

- 謙虚であり、高い人権意識を持った生徒・保護者・地域から信頼される教師
- ・高い倫理観と規範意識を備え、師弟同行の精神を持ち、実践力あふれる教師
- ・専門的な知識や技能を高め、主体的・対話的で深い学びを実践できる教師
- ・生徒を大切に思い、指導や支援への情熱をもち、多様な考えや特性を認めながら、生徒の可能性を伸ばすことができる教師
- ・組織の一員としての自覚をもって連携・協力し、互いに高めあえる教師

学校経営の基本方針

生徒が自らの成長と自己実現を目指し、安心して学ぶことのできる学校。すなわち、学校教育目標である「愛校心を持つ、たくましく生きる力を身につけた生徒の育成」のために3つの具体目標の達成に向けて、教職員が一丸となって教育活動を実践していくことで、生徒・保護者・地域から信頼される魅力のある学校を目指す。

自ら意欲的に学び、正しく判断できる生徒

思いやりと感謝の心を持ち、主体的に行動できる生徒

あかるく健康で活力ある生徒

★教師がさせる授業から生徒がする授業へ

- ・「はばプラⅡ・はばプラⅡICT活用Ver」等を活用した『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業実践と授業改善。
- ・一人一台端末を効果的に活用した授業づくりの推進
- ・探究的な学びの充実
- ・指導と評価の一体化の充実
- ・情報モラル教育の推進とICTリテラシーの向上
- ・自己実現への過程を大事にするキャリア教育の推進

かしこさ

★豊かな人間性の育成・非認知能力の育成

- ・自己指導能力の獲得を支える生徒指導の4つの視点を意識した取り組み
- ・自己存在感や共感的な人間関係の育成のために、生徒主体の企画・運営による学校行事や学年行事の実施(生徒評議員会・あいさつ運動・いじめ防止活動など)
- ・全教職員の共通理解に基づく組織的な道徳教育の実践。
- ・教職員自身が高い人権意識を磨き、常時指導を基盤とした人権教育の充実
- ・基本的生活習慣(凡事徹底、挨拶先手)、学習規律、礼儀やマナーの確立

やさしさ

★健やかな心と体の育成

- ・学校、学級が楽しく、安心安全であり、達成感が得られる居場所づくりの工夫
- ・生徒一人一人の状況を早期に正確に把握して組織的な対応ができるよう、教育相談サポート体制の充実、関係機関との連携(相談室、ほっとルーム、保健室、教育支援センターひだまり、SC、SSW等)
- ・生徒の自己実現を図るため、自己指導能力の育成をめざす生徒指導
- ・何事にも諦めずにチャレンジする活力や心意気の育成
- ・壁にぶつかったときの苦しさや辛さに打ち勝つ心の育成

たくましさ

今年度の重点

生徒が自ら学習し、生きる力を身につけ、夢を実現できる活動の設定

- ・生徒が自ら『個別最適な学び』と『協働的な学び』の充実を図り、資質・能力を育成するために一人一台端末を有効活用する。
- ・授業や自主学習でeライブラリを積極的に活用する。
- ・「めあてと振り返り」、「教師がさせる授業から生徒がする授業」への授業改善を推進する。
- ・生徒が自ら将来を見据え、自己の生き方を真剣に考え『夢を実現できる』進路指導、進路選択、自己実現のためのきめ細やかなキャリア教育を推進する。
- ・生徒主体の学校・学年行事や生徒会活動を実践する。

教育相談・生徒指導・特別支援教育の組織的な対応

- ・生徒指導部会、教育相談部会だけでなく、生徒の気になる様子を見逃さず、タイミングが遅れることなく全教職員で情報共有し、組織として対応する。
- ・不登校生徒への対応は、生徒、保護者の気持ちに寄り添い、心の変容を促すことを目標とする。生徒が卒業後の進路選択を主体的に捉え、社会的に自立することを目指し、教職員が連携・協力して支援に当たる。
- ・不登校を問題行動ととらえず、教育相談担当を中心として職員、SC、SSW、相談員、教育支援センター等が連携し、生徒や保護者の気持ちに寄り添い支援する。
- ・月に一度のハッピースマイルプラン、いじめアンケート等を活用して、いじめの防止、早期発見に努め、学校いじめ防止基本方針に基づく適切な対応を行う。
- ・いじめが疑われる言動を把握したら、生徒に聞き取りを行い、必要に応じて担任や学年主任を中心にタイミングが遅れることなく、適切な対応をする。
- ・全ての教職員が組織的に対応するインクルーシブ教育や特別支援教育を推進する。

安心・安全で、保護者や地域から信頼される学校

- ・生徒の健康面、安全面で配慮の必要な生徒を把握し、全職員が周知し、適切な対応をする。(アレルギー、発達障がい、不登校、教育相談の必要な生徒等)
- ・「自助、共助、公助」の安全教育、防災教育を推進する。
- ・学校でのけがや事故への救急処置や救急体制の迅速かつ適切な対応をする。
- ・登下校時の交通安全、台風や積雪などの自然災害、不審者対応等を家庭、地域や関係機関と連携した取組を推進する。
- ・事故等発生時及び事後には、全教職員が「千代田中学校学校危機管理マニュアル」に基づくのはもちろん、必要に応じてマニュアルを超えてそれぞれの役割を分担し、生徒の安全確保及び応急手当、心のケア等を実施する。
- ・様々な困難、ストレスの対処方法を身に付けると同時に、精神的に追い込まれる前、心に余裕がなくなる前に『SOSの出し方・受け止め方教育』を実施する。
- ・町や地域行事へ生徒を積極的に参加させ、学校以外での活躍の場を広げる。

教育活動を行う教職員の資質向上

- ★教育公務員としての自覚と誇りをもち、コンプライアンス意識をしっかりと身につける。
- ★生徒の表面だけでなく、多面的、総合的な理解に努め、児童生徒理解を深める。
- ★教職員は、生徒の人権感覚を醸成するだけでなく、自らも高い人権意識を磨いていく。
- ★教員養成指標を活用し、段階に応じたOJTやメンター研修等を通して若手教員等の資質能力、並びに職能成長を図る。



- ★教職員や学校内の多様な人材が、それぞれの得意分野や専門性を生かして、子どもたちに必要な資質・能力を身につけさせる。
- ★人事評価における自己目標を設定し、自ら学び続ける力、新たな課題に対応する力、チーム学校として発揮する力などを育成する
- ★業務改善を推進し、生徒と寄り添う時間の確保に努める。
- ★全教職員でICTを活用した教育活動、校務の情報化、効率化を推進する。
- ★同僚性を高め、不祥事を起こさせない風通しのよい職場環境づくりの推進と規律確保行動計画の共通実践を図る。